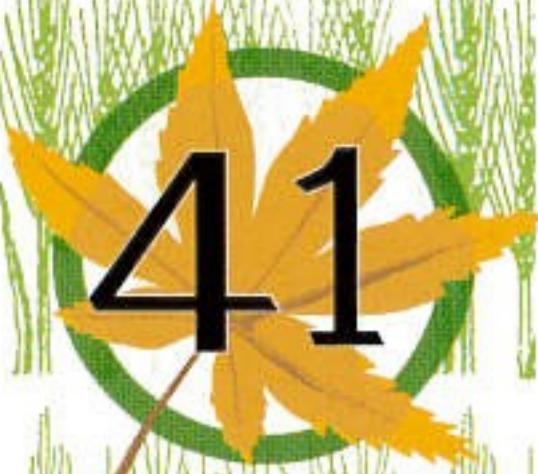


# 麦の穂

医療法人 光臨会  
荒木脳神経外科病院  
Araki Neurosurgical Hospital



●平成 21 年 11 月 15 日 発行  
●編集 広報誌編集部会

第 12 回

## 4名の職員が演題を発表！

当部署における転倒・転落防止への意識向上へ向けた取り組み

平成 21 年 7 月 18・19 日、ホテルニューオータニ大阪にて第 12 回日本病院脳神経外科学会が開催されました。本学会では、「先端医療をどこまで導入するか」をテーマに講演・演題発表が行われました。当院からは 4 題の演題発表を行いました。

**破裂脳動脈瘤に対する血管内治療手技における虚血性合併症についての検討**

平成 16 年 1 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日までに破裂脳動脈瘤に対して血管内治療を施行 60 例の内、破裂脳動脈瘤における血管内治療手技における虚血性合併症例 3 例について検討しました。合併症を予防するためには、ワーキングアンダルの確保が重要であり、分岐の閉塞を起こした場合は、アルガトロバン等の抗凝固療法が有用と考えられました。

（脳神経外科 谷 到）

**脳神経外科専門病院における臨床工学技士の役割**

当院での勤務経験より、脳神経外科専門病院で求められる手術業務における臨床工学技士の役割について検討しました。手術業務としては器械出し・外回り・患者管理があり、臨床工学技士と看護師が協力して行います。臨床工学技士が勤務することにより、手術室で使用する医療機器の煩雑化による看護師の負担を軽減し、手術をより効率良く進めます。

（臨床工学技士 關 洋太朗）

**当部署における転倒・転落防止への意識向上へ向けた取り組み**

リハビリテーション部のインシデント報告の中では、転倒・転落・怪我に関する項目が最も多く、発生原因を考える機会が多くあるのが現状です。その為、療法士の転倒・転落防止への意識向上に向け、勉強会を開催しました。報告事例を挙げ、根本原因分析を行い、評価不足、情報共有不足、危険予測不十分などの原因が挙がりました。

（理学療法士 鈴木 深雪）

今回の勉強会を通して、リスク

クマネジメントに対する意識の共有、転倒・転落に対する意識の向上が図れたのではないかと考えられます。今後の課題は、個々の療法士の危険予測能力を高めていき、リスクマネジメントの知識や技術を全員で共有し、改善策の提案と環境作りを行うことが重要であると考えます。

（言語聴覚士 水戸 裕香）

**家族による嚥下練習を継続し自宅退院後の経口摂取が可能となつた一症例**

胃瘻を造設した患者様が自宅退院しましたが、家族が「口から食べること」に対し強い希望をもち、外来での嚥下機能評価という目標に向け、自宅退院後も毎日嚥下練習を継続したことにより、ゼリーやとろみ水分の摂取が可能となつた一症例について報告しました。本症例のように自宅で看護師などと共にチーム医療の一員として活躍できる場はさらに増えていくものと考えます。

（言語聴覚士 水戸 裕香）

**多くの指導や協力により、発表当日を迎えることができました。今後もより良い医療・リハビリテーションを提供できるよう、日々の業務・自己研鑽に努めたいと思います。**

多くの指導や協力により、発表当日を迎えることができました。今後もより良い医療・リハビリテーションを提供できるよう、日々の業務・自己研鑽に努めたいと思います。

（言語聴覚士 水戸 裕香）

# 臨床検査技師の仕事って？

現在、当院の臨床検査技師は3名で

検査を行つております。みなさんは臨床検査技師という職業をご存じでしょうか？

臨床検査技師とは、専門の学校に3年以上行き、国家試験に合格した者が従事する職業です。

あまり耳にしたことがないかもしませんが、病院で検査をしたことがある方は、この臨床検査技師に一度はお目にかかったことがあるかもしれません。

当院の臨床検査技師が行つてている検

査は、主に採血、血液検査、尿検査、心電図、脳波、超音波検査（超音波エコー検査）などがあります。その他にも、平衡機能検査、聴力検査、トレッドミル検査、視野検査、ホルター心電図、輸血検査業務、内視鏡検査に関する業務、胃瘻造設に関する業務等たくさんある業務があります。

へ文責 検査部 濱野 真隆

普段の業務内容について  
臨床検査技師（以下MT）  
さんにインタビューしてみました。



MT  
『患者様に安心して検査を受けて頂けるよう、日々努力していくたいと思います。』

筆者  
『最後に一言お願いします。』

MT  
『超音波検査をしているということですが、検査によって、どのようなことが分かりますか？』

MT  
『患者様の身体にプローブという機械を当てる』ことにより、体内の臓器を画像として捉えることができ、それにより、臓器の病気（脂肪肝や炎症、腫瘍など）を見つけることができる検査です。特に症状がない方でも、この検査することで病気の早期発見につながることがあります。』

『内視鏡検査を安全に受けて頂けるよう、内視鏡の使用前点検、検査中における患者様の体調管理、検査後の内視鏡の洗浄・消毒、使用後点検等を行つております。また、患者様に感染が起きないよう、安全に検査を受けられるように努めています。』

『当院での内視鏡検査では、どのような仕事をしているのですか？』

筆者

6月24日に広島市防災センターにて行われた防災研修に参加しました。

地震体験では震度7の揺れを体験しました。とても立つていられず

した。当日は晴天に恵まれ、絶好の防災訓練日和でした。午前中は机上の講義がありました。年間の火災数は6万件を超えており、事業所や施設の火災では多くの人の命を失う火災も起き続けていることでした。大きな施設では火災警報が鳴つても誤報であると勝手に決めつけてしまい大事に至ることがあることや、火災を見つける

ことがありました。第一発見者の初動消火の重要性を教わりました。

防災訓練センターでは、多くの非難器具を実際に体験することが出来ました。2階から、はしごなどを使用して降りたり、様々な非難器具の取り扱いを体験することで実際の非難時に慌てずに対応出来る自信がつきました。

煙体験では実際の火災時の煙ではなく、発煙装置を使用して煙が充満した建物の中を歩きました。想像よりも煙の中は視界が悪く、煙の中で腰を低くして壁伝いに歩

## ★防災訓練に参加して★



きましたが、視界が遮られていたため、恐怖心でなかなか進むことが出来ませんでした。

地震体験では震度7の揺れを体験しました。とても立つていられずになかっただけで、消火器が設置されている場所を知らなかっただけで、地震に備えて家具を固定して落としてこないよう備えなくてはと思いました。

午後からは、実際に消火器を使用して消火をしました。火事の現場では消火器があるのに使い方が分からなかっただけで、消火器が設置されている場所を知らなかっただけで、火災になってしまふことがあるそうです。皆様は「消火栓の使い方を知っていますか？」「消火栓のある場所を知っていますか？」私は研修後病院に戻り、消火器の場所や消火栓のある場所を確認しました。いつあるか分からぬ災害に対して備えることが一番大事なことなのだと思います。

へ文責 リハビリテーション部

中川 龍

# リハビリ便り

## 訪問リハビリって??

皆様は訪問リハビリテーションとい

うサービスをご存知でしょうか。訪

問リハビリテーションとは、さまざ

まな病状を持ちながら自宅で生活を

送っている方が、住み慣れた環境

で生活を維持できるよう理学療法士、

作業療法士、言語聴覚士がご自宅を

訪問して、リハビリテーションを提

供するサービスです。

当院でも「荒木訪問リハビリテー

ション」として介護保険での訪問リ

ハビリテーション事業を展開してい

ます。現在は理学療法士、作業療法士、

計5名が専属しています。また、必

要に応じて言語聴覚士の訪問も行つ

ています。

ご自宅での生活で、何かお困りの

ことがありましたら、ぜひお手伝い

させて頂ければと思います。



## <訪問リハビリテーション提供の流れ>

ご自宅へ訪問

病状・障害の観察

バイタルサインの確認

サービスの提供

主なサービス内容

- 身体機能の維持・回復、悪化の防止
- 起き上がり、立ち上がり、歩行などの基本的能力の維持、向上の支援
- トイレ、入浴、整容、更衣などの日常生活動作の練習
- 介助負担軽減のための介助方法の助言
- 適切な福祉用具の活用方法の助言

経過記録の記載

リハビリテーションの内容や  
状況を記録します

連絡ノートの記載

リハビリテーションの状況や  
介助方法などを記載し、  
他事業所との情報共有を行っています

帰院



蔵田 裕子△

営業日：月曜日から土曜日まで（祝日を含みます）

営業時間：午前9時～午後6時まで

事業実施地域：広島市本川より西

区側の地域（舟入・江波・十日市等）

文責 リハビリテーション部

50～60代の方

大変お世話になりました。看護師さ

ん、スタッフの皆様、リハビリでの担当の方、本当によくして戴き感謝しております。

皆さん明るく元気にお仕事されていて感心しました。  
有難うございました。

\*ご意見いただき誠にありがとうございました。

訪問リハビリを  
利用したいと思われたら！

当院では投書箱を設けさせて戴いております。一部ではありますがご紹介させていただきます。

じいちゃんは、けっかんがつまつたびよぎです。じいちゃんはかわいいです。とくにひげのところがかわいいです。びょういんのかんごさんがやさしいからいいです。わたしはかんごしさんとながお先生がすごいと思いました。

0～10代 小学生



みなさまの声

## ■ 理念

1. 脳神経外科としての専門性を軸に幅広い診療体制で地域医療に貢献します。
2. 高度な診断・検査機能の提供により、早期発見・早期治療に取り組みます。

## ■ 運営方針

1. 「医療の原点は救急である」
2. 快適な療養環境と接遇の提供
3. チーム医療の推進と相互啓発
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

## ■ 患者様の権利

私たちは患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいて医療を行います。

1. 個人の尊厳が守られる権利を尊重します。
2. 最善かつ、安全な医療を受ける権利を尊重します。
3. 医療に関して知る権利を尊重します。
4. 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します。
5. 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します。

## ■ 患者様の義務

1. 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります。
2. 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。

## 外来担当医表

診察時間	午前 9時～12時 午後 3時～6時
初診受付時間	午前 11時30分迄 午後 5時30分迄

## 脳神経外科

平成21年10月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前	初診(1診)	谷	長尾	理事長	沖院長	長尾	広大
	再診(2診)	理事長	沖院長	長尾	長尾	谷	谷
	再診(4診)				理事長		
午後	初・再診	沖院長	谷	広大	鯉川	谷	広大

## 総合診療(内科)

午前	3診	*1野村		*1野村	*1野村	*1野村	*1野村
	4診		*2渡辺				*2渡辺
午後	3診	*1野村			*1野村		*1野村

## 形成外科

午前	4診			*3平本			
----	----	--	--	------	--	--	--

## 案内図



## お知らせ

今年は例年以上にインフルエンザが流行っています。  
外出後は必ず、手洗い・うがいを心がけましょう！！

広報誌編集部

## 医療法人光臨会

### 荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7

TEL 082-272-1114

FAX 082-272-7048

E-mail info@arakihp.jp

ホームページアドレス <http://www.arakihp.jp>

### 荒木訪問リハビリテーション

TEL 082-527-1123

### 荒木居宅介護支援事業所

TEL 082-507-6300

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目7-10

### あんしんプラザ

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15

### 荒木クリニック

通所リハビリテーション TEL 082-507-6100

### あんしんホーム

(認知症対応型共同生活介護施設) TEL 082-507-6600

## 交通案内

### ○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より

宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

### ○広島電鉄・宮島線

「東高須」下車 徒歩3分

### ○広島バス25号線

「庚午北2丁目」バス停前

